



刊夕日一十三月七

發行兼編輯人 川崎文治
 印刷所 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地
 電話 二二七番

定一月部金貳錢 廣五號十二
 一月部金貳錢 廣五號十二
 一月部金貳錢 廣五號十二

攝影會
 一、九月三日午前九時平驛集合
 一、四倉海岸 晴雨に不拘
 一、會費金一圓 復原車賃共
 カノラ愛好の士一日の清遊多數御賛同を乞ふ

山古印醬油

元製造 鹽屋本本店
 電話二七三番

常磐文藝
 悲しき思ひ出
 K 生
 思ひ出は 肌寒き冬の夜なりき
 思ひ出は うら悲しき雪の夜なりき
 眞闇の水面は 魚もねむりて
 いとも静けき 戀人を待つ間の 苦しき我が胸...
 赤き夢黒き夢 心の悪魔は惱み狂ひぬ
 戀人のやさしき姿は 我が胸にひよとせまれど
 その身は遂に消え去りぬ 苦しき心は悶え狂ふ
 おも思ひ出は 肌さす一月の 静かなる雪の夜なりき
 あく思ひ出は たゞ苦しかりけり...
 たゞ涙なりけり... (二四七、七三)

絶對はげぬ
 染の特色
 1、石鹼や苛性を使用する家庭的洗滌法に對しては絶對に變色なく穿る洗濯の度に色相の美を發揮する特色を有してゐます
 2、白布と共に洗濯しても決して白布を汚しません
 3、盛夏の日光の最も熾烈なる炎天下に直射乾燥せしめても斷じて褪色致しません
 約特店 三井吳服店
 電話三三八番

郷土社
 各種古本高價買入 新古本交換及販賣
 移店急告
 各種古本高價買入 新古本交換及販賣
 是是非非
 粹上品な履物を 御求めの際は
 (番六五一話電) 目丁二町平
 店ノモキハ井三

開設 大村や
 料理御 大村や
 那役所横通 大村屋
 平町二丁目 (電話一七五番)

建築ペンキ塗 美術諸看板 硝子金銀文字 其他各種
 大音堂
 平町四丁目

看護婦派遣の求めに應ず
 平町南町 平看護婦會
 電話三〇七番

無産者と水道
 川崎文治
 而し必らずしも町當局が無産階級に對する水道の普及を全々無視してのみ居るものでない事が肯定されれば譯ではない、夫れは平町の水道條例に唯一無産者が専用栓を敷設するに當つての恩典(?)であらう事を推斷出来る一條項がある、即ち一時に敷設料の全部を納入し得ざる者に對しては十箇月の月賦納入の方法がある事である、然れ共此事を以つて直ちに無産者に對する充分なる水道敷設上の恩典であるとのみは速断を許さ

れない、何故となれば假りに五十圓の敷設料を要する場合無産者が是れを十箇月に分納すべく使用料以外に毎月五圓宛の負擔を帯ぶる事は確かに切りつめられた生活に對して過大の重荷であるに拘らず更に其金額の一分を利息として納附すべき義務を負はねばならぬのである、故に有産階級者は何等の苦勞を経ず五十圓の敷設料を以つて専用栓を敷設するに對し無産階級者は同様専用栓を五十五圓の負擔に耐えねば飲用し能はざるのである、當事者側の見解よりせば月賦の特典を課する以上相當の利息

株式買値中値
 左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

錦格	拂込	時價
平銀行	五〇〇	五三〇
磐城銀行	五〇〇	七一一
磐城銀行	五〇〇	一〇五
磐城銀行	五〇〇	四三〇
磐城銀行	三〇〇	二九〇
田村實業	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
同新	一五〇	一五〇
同新	一五〇	一六〇
同新	一五〇	一九八
同新	一五〇	三七〇
同新	一五〇	一七〇
同新	一五〇	六五
同新	一五〇	一五五
同新	一五〇	一三〇
同新	一五〇	五〇
同新	一五〇	四〇
同新	一五〇	二五〇
同新	一五〇	一三五
同新	一五〇	二六〇
同新	一五〇	二二〇
同新	一五〇	三三〇
同新	一五〇	一七〇
同新	一五〇	六〇
同新	一五〇	四一〇
同新	一五〇	一八〇
同新	一五〇	六四五
同新	一五〇	三四五
同新	一五〇	八〇

平町南町 電話三三三番
丸登株式会社
 川添房二郎

平町水道を擴張 約十萬圓を投じて

捻出方法は起債と補助

平町上水道擴張に關する平町會は本日午前九時から開會したが擴張工事費に關する概算を聞くに總計九萬九千六百卅九圓九十七錢で右は大正十四、十五の二年に亘る繼續事業である而して之れが内譯は爐鍋池(形狀は現在ものに同じである)此の概算工費二萬二千八百十圓二十八錢、沈澱池一個(同上)概算工費二萬二千三百四圓八十錢配水池(同)工費一萬九千四百五十五圓三十五錢配水管延長一千八十二間

六分九厘の工費概算一萬九千八百九十一圓五十四錢で之が事務及監督としての費用が一萬五千五百五十八圓であるが此の工費の捻出方法に對しては一つは縣費の補助を仰ぎ一つは他より起債する計劃を立てるにあり左記十一名の調査委員を選挙して原案を審議する事になつた

- 永山和平、酒井國三郎、井上茂作、山崎與三郎、白土四郎、藤田榮太郎、小原幸次郎、坂本隆藏、吉田禮次郎、吉田定太郎

不可解千萬な 公設市場の勘定書

人を愚にするにも程がある

町當局の責任問題

平町の公設市場が唯單に古川四郎の一營利事業の如き觀ある爲め各方面から非難の的となつて居る事は既記の如くであるが市場から毎月町役場に提出する賣上勘定なるものに依つて見ても古川の誠意に對する疑惑一層濃厚ならざるを得ない即ち同勘定書の仕入高と賣上高を對照するに

月名	仕入高	賣上高
一月	六五、〇〇〇	八五、八〇〇
二月	六〇、〇〇〇	一〇六、二〇〇
三月	四三、〇〇〇	一五三、〇〇〇
四月	三〇、〇〇〇	一三三、〇〇〇
五月	二四、〇〇〇	一四六、五〇〇
六月	四一、〇〇〇	一三三、〇〇〇

常磐片々

夏の旅にデッキより振り落さるる者多し

是れも社會の縮圖、不適者は總べてフルイ落さる

ベテ男平署の刑事だと威張る

本物の刑事より人相がよかつたさうだ

平町で職業紹介所設置の調査を開始

公設市場の様な結末を告げ

江名水上運動 石城郡江名町にては昨日十時から築港内にて水上運動會を開き頗る盛況を呈した

副團長留任

幹部會の決議 平町青年團副團長馬目武之

海水浴場に

根城を構へた魔の手

何より注意が肝要

夏休みになつたので各地から多數の歸省學生が入込んで来たそれに伴つて不良少年少女も入り込みかき入れ時のやうに

良家の

婦女子を誘拐し盛んに風紀を亂してゐる殊に本縣では濱通りの海水浴場にその過半数が根城をかまへて魔の手を延ばし彼等獨特の手を以て誘拐してゐる斯うした奴等の

毒牙に

かゝり墮落しきつて行く少女少年は年々數々切れぬ程であるから

カテイラン

粉化粧の仕方

粉化粧は至つて簡單だけに落ち易いやうであります、手馴れて來ること、皮膚になじむこと、よつて、かなり長く保たせることが出来るのであります。その方法といはしましてはまづクリームをびんから直

助氏は今回の大瀧發電所問題の副産物である石井東日記者詰問事件に連座して被告取られた爲め責を負ふて副團長の辭表を提出したが此程大森團長宅にて幹部會を招集附議せる結果同氏の行動は公憤より出發せるものとの見解一致した爲め留任を決議し辭表を撤回する事となつた

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

不平受付

朝鮮人の籤賣り 四倉等への避暑客を日當てに朝鮮人が時計を懸け一本五圓宛で籤を賣つて居ます見え透いた彼等の奸策に乗せられて一枚の金を捲き上げられる者も馬鹿の骨頂ですが斯かる朝鮮人を嚴重に取締る必要はないでせうか(質生)

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

々打合せた 俺れは 平署の刑事だ 飲食店の二階 にも上り込んで

不平受付

朝鮮人の籤賣り 四倉等への避暑客を日當てに朝鮮人が時計を懸け一本五圓宛で籤を賣つて居ます見え透いた彼等の奸策に乗せられて一枚の金を捲き上げられる者も馬鹿の骨頂ですが斯かる朝鮮人を嚴重に取締る必要はないでせうか(質生)

粉白粉を含ませて、顔全體に塗り、その上をセーム皮で軽くその白粉をよくすりこみます。眉や生際にも白粉がついてゐたらよくふきとり、もう一度仕上げに鼻の上を粉刷毛で刷いておくのであります。

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

常磐片々

夏の旅にデッキより振り落さるる者多し

是れも社會の縮圖、不適者は總べてフルイ落さる

ベテ男平署の刑事だと威張る

本物の刑事より人相がよかつたさうだ

平町で職業紹介所設置の調査を開始

公設市場の様な結末を告げ

小川消防協賛 石城郡上小川村消防組にては本

平町人事

出生 立町 佐藤熊之助兵二男勝次

死亡 立町 渡邊ミナ(四七)

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種

職業紹介所

内務省が勧誘 内務省社會局屬赤澤滋雄氏は平町に職業紹介所を設置せしむべく來平し同町の事情其他を調査し町當局と種